

## 平成 26 年度 産学連携交流事業 実施報告

地元および周辺地域企業と有明高専との間を取り持ち、地域企業の活性化を図るために、本振興会は講演会、工場見学、シーズ発表会等を企画・実施してきた。昨年度、アベノミクスによる補正予算で導入された多数の研究・実験設備を振興会企業にご活用いただくべく、講習会を開催した。サテライトオフィスを開設し、有明高専の一層の開放と情報収集および発信能力の向上を図った。

### 1. 分科会基本方針

振興会に分科会を設立し、分科会を通じて本校の教職員と地域企業の技術者との交流を深め、共同研究や技術・製品開発を活性化している。また、会員企業間の交流および協力の可能性も含めた新事業育成を視座とした分科会を目指している。

本年度は、新規事業の方向性を探索するために、分科会幹事を下記 2 名の方へお願いした。

企業幹事：吉海 寛人（株式会社三井三池製作所）

高専幹事：松野 哲也（電子情報工学科）

### 2. 事業の開催

振興会会員企業に有明高専が所有する設備を会員企業に紹介して、両者間を取り持ち、技術相談から共同研究へ発展させる必要がある。これらの基盤となるシーズやニーズなどについて情報を共有し、事業展開への機会づくりを図るために、以下の事業を実施した。

#### (1) 講習会（6 回）

- ・ 走査型電子顕微鏡（日立 SU3500）説明講習会  
8 月 27 日、本校専攻科講義室と開発研究室 22 にて「走査型電子顕微鏡」の説明講習会が開催され、富永センター長と石川センター員をはじめ本校教職員と企業より 30 名が参加
- ・ 非接触表面形状測定機器説明会  
9 月 17 日、本校合同講義室北にて「ZYG0 NewView7100」の説明講習会が開催され、富永センター長と篠崎センター員をはじめ本校教職員と企業より 11 名が参加
- ・ X 線回析装置 Smart Lab 機器説明会  
9 月 26 日、本校第一機器分析室および X 線室にて「X 線回析装置機器説明会」が開催され、篠崎センター員をはじめ本校教職員と企業より 11 名が参加
- ・ LC-MS 説明会  
10 月 16 日、本校情報化対応スペースにて「LC-MS」の説明会が開催され、本校教職員と企業より 8 名が参加
- ・ マイクロ波プラズマ原子発光分光分析装置説明会  
12 月 16 日、本校にて「マイクロ波プラズマ原子発光分光分析装置説明会」が開催され、本校教職員をはじめ企業より 6 名が参加
- ・ ネットワークアナライザセミナー  
2 月 9 日、本校専攻科講義室にて「ネットワークアナライザセミナー」が開催され、本校教職員をはじめ企業より 9 名が参加しました。ネットワークアナライザの基本構造の説明後、実際の装置を使い非測定物を実測し操作方法などを紹介

#### (2) ビジネススキル基礎講座（高専機構社会人活用助成を利用）

本校専攻科講義室にて、株式会社 A S K プロジェクト代表取締役 橋爪康知氏により「ビ

ビジネススキル基礎講座」4講座が開催され、本校教職員と学生および企業より16名が参加  
(第1回) 12月12日 コミュニケーションやヒアリングの基礎となる『聴く力・話す力』  
(第2回) 1月28日 様々な問題を解決する方法を生み出すための『考える力』  
(第3回) 2月19日 情報を漏れ無く伝える報告書やメールを作成するための『書く力』  
(第4回) 3月6日 現場やチームで仕事をスムーズに進めるための『情報を共有する力』

### (3) 有明高専シーズデータベースの整備

有明高専シーズデータベースを高専データベースと様式を統一し、Webページに掲載した。

### (4) サテライトオフィス事業

大牟田市・大牟田市地域活性化センター・有明高専コーディネータによる定例情報交換会を開催した。

## 3. 有明高専主催・共催行事支援

有明高専が主催または共催する事業は多数あるが、その中で振興会会員企業と密接に関連した下記の事業を行った。

### (1) 有明高専オープンカレッジとの共催イベント

有明高専で8月23日(土)、24日(日)にオープンカレッジ2014が開催され、～みて・ふれてワクワク体験!!～をテーマに各学科企画の、ものづくり体験教室や学科紹介、中3向け進路相談、女子学生によるイベント、小中学生によるロボコンJrリーグ等が開催された。両日悪天候にもかかわらず、1,176名という来場者があり、地域の方々、周辺の小中学生のみならず、遠方からもご来場いただいた。

ここで、振興会会員企業紹介を実施した。これは中学3年生に対する進路相談が実施されていた会場の前で実施したものであり、多くの中学生とその保護者以外にも多くの来場者が見学していた。

### (2) 九州地区高専若手研究者と九州弁理士交流会

11月28日、博多バスターミナルの12.13ホールにて開催

### (3) 第12回 おおむた産学官連環交流会

基礎研究の成果をいち早く出口につなげる産学連携の重要性が増す中、さらに産学官のつながりを深め、広く大牟田地域の技術革新を進展するために産学連携交流会が開催され、多数の参加者があった。本校からは建築学科鎌田准教授が「空家活用研究」に関する発表を行いました。多数の参加者により有意義な交流が見られ、盛況のうちに終えることができた。

日時：平成26年12月4日(木) 14:30～(意見交換会 17:15～18:45)

会場：オームタガーデンホテル 鳳凰の間

## 4. 地場産業振興支援研究事業

地場産業振興を最終目標として、地場企業と高専教職員との連携による研究・開発の促進を目的とする地場産業振興支援研究を継続支援する事業を行った。また、会員企業の技術相談に基づく新規導入装置による測定依頼を支援した。

以下の5件を採択助成した。研究成果は総会資料として配布し、この中の2件は振興会総会終了後に発表して頂く予定である。

○一般教育科 焼山 廣志 教授

研究課題：「菅原道真研究～『菅家後集』作品全注釈」（三冊目）刊行事業（その1）

○電子情報工学科 石川 洋平 准教授

研究課題：地場企業と連携した「起業」に関するアウトリーチ活動の促進

○物質工学科 近藤 満 准教授

研究課題：未利用バイオマスの急速熱分解および改質による燃料油の生成

○電子情報工学科 内海 通弘 教授

研究課題：メタンハイドレートセンサの開発

○機械工学科 堀田 源治 教授（科研費採択）

研究課題：危険源に対する個人毎の危険感受個性を把握することによる安全教育の有効化

## 5. 研究開発助成事業の斡旋導入

年度	共同（件）	受託（件）	合計（件）	共同（千円）	受託（千円）	合計（千円）
16	24	6	30	23,788	15,455	39,243
17	18	8	26	17,082	19,315	36,397
18	10	6	16	14,940	14,872	29,812
19	13	5	18	23,600	3,195	26,795
20	18	5	23	14,597	4,677	19,274
21	12	5	17	9,250	8,255	17,505
22	6	4	10	3,887	1,850	5,737
23	6	5	11	3,825	3,690	7,515
24	7	6	13	1,260	6,499	7,756
25	11	4	15	3,042	7,283	10,325
26	7	3	10	796	4,684	5,480

## 6. 平成26年度予算執行状況

### 【収入の部】

（単位：円）

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 振興会負担金	700,000	700,000	0
2. 繰越金	221,225	221,225	0
3. 雑収入	39	0	39
合計	921,264	921,225	39

### 【支出の部】

（単位：円）

区分	決算額	予算額	比較増減
1. 分科会支援金	0	210,000	▲210,000
2. 地場産業振興支援研究費	200,000	200,000	0
3. オープンカレッジ	137,564	150,000	▲12,436
4. 会議費	3,558	20,000	▲16,442
5. サテライトオフィス事業	4,240	200,000	▲195,760
6. 予備費	0	141,225	▲141,225

合 計	345,362	921,225	▲575,863
-----	---------	---------	----------

【収支】

(単位：円)

平成 26 年度収支残額	収入合計	支出合計	収支残額
	921,264	345,362	575,902